

# あすの 健康

No.119

## 目次

- からだの話  
「風邪・インフルエンザ・  
新型コロナウイルス」……1～3
- 赤ちゃんの四季……4
- コラム 折りおり……4
- ひょうご・小さな旅……5
- おしらせ……5～6
- 歴史を歩く……7



ノコンギク

みやざわ 正顯 先生

近畿大学大学院医学研究科長  
医学部免疫学教室教授



# 宮澤 正顯 先生に聞く

ウイルス感染症を予防するために、どのように行動すればよいか、今わかっていることがらについて宮澤先生に伺います。

## からだの話

— 風邪・インフルエンザ・  
新型コロナウイルス —

## ウイルス含んだ飛沫で感染

— 新型コロナウイルス感染症が世界的に流行していますが、そもそもウイルスとはどんなものですか。

私たちの体に入つて感染症を起こす病原体には大きく分けると細菌とウイルスがあります。

細菌はそれ自体が一個の細胞で、大きさは人間の細胞の10分の1くらいです。周りを細胞膜という膜で覆われており、中に遺伝子やタンパク質などが入っています。自ら膜内に栄養を取り込んでエネルギーに加え、遺伝子やタンパク質を増やします。十分に遺伝子やタンパク質が増えると、真ん中にくびれが入つて一個だった細胞が二個になり、二個が四個になる。こうやって二分裂で増えていきます。さらに、エネルギーを使って鞭毛や繊毛という毛を動かして泳ぎ回ることができるので、傷口などから私たちの体の中に潜り込んで感染症を起こすのです。

一方、ウイルスは非常に小さく、細菌の10分の1から30分の1くらいのは大きいです。遺伝子の周りがタンパク質の殻に包まれた単なる物質で、ウイルスだけで移動したり増殖

したりはできません。生きた細胞に潜り込んで、細胞が遺伝子を増やしたりタンパク質をつくったりするしくみを乗っ取り、無理やりウイルス遺伝子のコピーやタンパク質をつくらせて増殖します。増殖したウイルスは細胞から飛び出し、また他の細胞に潜り込んで…という形で増えていきます（図1）。

— ウイルスだけでは移動できないのに、どうやって感染が広がるのですか。

風邪やインフルエンザ、新型コロナウイルスの場合、それはウイルスを含む「飛沫」が飛ぶからです。私たちの体の細胞の周囲は体液で覆われています。従つて、細胞に潜り込んで増殖したウイルスも体液の中に放出されます。ウイルスを含んだ体液に、咳やくしゃみなどの強い空気の流れが当たり、水しぶきが飛び出します。それが飛沫です。感染者からの飛沫をからだの中に吸い込むと、ウイルスが細胞に潜り込んで感染が起こるのです。

— ウイルスで感染する風邪やインフルエンザは、秋から冬にかけて流行しますが、なぜこの季節に多くなるのでしょうか。

この質問は結構難しいですね。

例えば、人間の側からみると、冬は寒いから家に閉じこもり、窓を閉め切つて換気も悪くなる。いわゆる「密」の状態が生じやすいですね。

また、人間ののどの細胞には繊毛という毛があつて、異物が入ってきたら「痰」として押し出す働きをしているのですが、寒くなると細胞の動きが鈍くなり繊毛があまり動かなくなるので、ウイルスが吸い込まれやすくなるという説もあります。

ウイルスの側からみると、感染力を保ちやすい環境が二つあつて、一つは温度です。

インフルエンザウイルスも新型コロナウイルスも、遺伝子はRNAというとても弱くて切れやすい一本の糸でできていて、切れると感染力がなくなります。私たちの細胞が作る粘液、鼻汁や唾液などには、RNAを壊す物質が含まれていて、これらは温度が高いほどよく働きます。つまり、温度が低いとRNAが切れにくく、ウイルスは感染力を保ちやすいのです。

もう一つは湿度です。湿度が下がると水分が蒸発しやすくなります。体内から出た飛沫は表面を覆っている水が減って小さくなり、遠くまで飛びやすくなるのです。また、インフルエンザウイルスは、気温20℃以下では湿度が低いほど長く感染力を保っているといわれています。フェレットを使った実験で、湿度が低いほど感染が広がりやすいことも示されています。

ただし、今回の新型コロナウイルスは夏でも感染が広がっているし、季節性があると考えないほうがいいです。

—今年の冬は、ちょっと熱が出ても風邪、インフルエンザ、新型コロナウィルス感染症のどれにかかったのかと心配になると思うのですが、症状や見分け方など対応の違いについて教えてください。

風邪とインフルエンザは全く別の病気です。

風邪は風邪症候群とも呼ばれ、原因となるウイルスはライノウイルス、RSウイルス、アデノウイルスなど多種多様です。鼻やのどなどに感染して炎症が起こり、顔がはれぼつたい感じになって軽い熱が出ます。

鼻詰まりなどの症状と水のようなさらさらした鼻水が出ますが、二、三日するとどろっとした膿のような鼻汁が出て治ります。これが基本的な経過です。

インフルエンザは鼻咽頭、気管、気管支などに感染します。感染直後からすごい速さでウイルスが増え、翌日には頭がふらふらするぐらいの高熱や全身の筋肉、関節の痛みが出ます。ですから、鼻風邪とインフルエンザはだれでも見分けがつかまず。

新型コロナウイルスの感染は、じわじわと進行していくので、最初に出る症状は比較的軽いです。なんとなく全身やのどに違和感がある、少し鼻水が出るなど、この時点では風邪症状との区別は難しく、軽症では風邪のような症状で治まる、あるいは全く気がつかない方もいます。

しかし肺炎などに進行する場合には、四、五日目頃から、立ち上がるうとするとふらふらする、激しい頭痛が出る、息を吸うときに胸が痛いなどの症状が出て、早く治療を始めないと重症化してしまいます。ちょっと熱が出たからといってすぐに検査をする必要はありませんが、風邪のような症状が普段よりも長く続くときは、早めに保健所や相談センター

に電話してください。

最悪の対応は、風邪のような症状が出ていのに、風邪薬を飲んで症状を抑えて仕事に行くことです。ウイルス感染を広げないためにも、「たかが風邪ぐらいで…」という考え方は、絶対にやめてください。

—予防については。

インフルエンザは必ずワクチンを接種することです。

新型コロナウイルスは、まだワクチンがないので、感染症全般に対する予防対策とほぼ同じです。

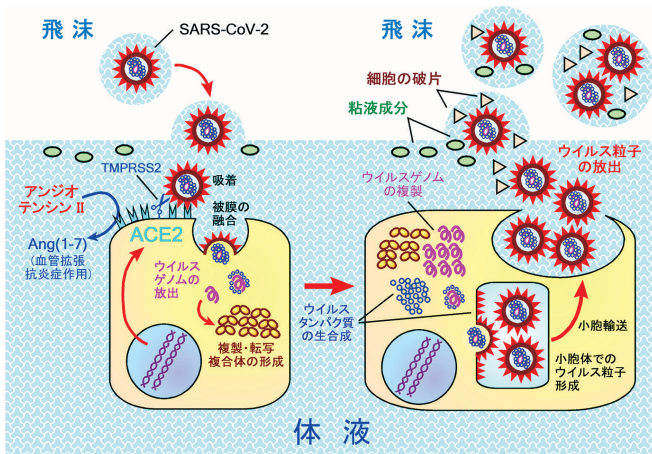


図1 ウイルスの増殖

インフルエンザウイルスや新型コロナウイルスは、エンベロープという脂質性の膜に覆われています(図2)。表面の膜がせっけんやエチルアルコール(エタノール)に溶けると、膜に埋め込まれているタンパク質が流れて感染能力を失ってしまいます。そのため、せっけんを使った手洗いやエタノールでの手指消毒は感染予防にとっても有効です。

手洗いはせっけんがよくなじむように手の表面全体を水でぬらしてから、しっかりと泡立せます。手のひら、手の甲、指の間、指全体だけでなく爪の周りを忘れずに洗ってください。手洗いはペーパータオルや清潔なハンカチでしっかりと乾燥させます。エタノールなど消毒薬は、さっとスプレーするだけでなく、手のひらに十分量を取って、手のひらと甲、指全体、爪の周りにも塗り広げることが大事です。

長時間の外出や、満員電車に乗りたり近い距離で人と会話をしたりしたときなどは、マスクで覆われていない部分に飛沫が飛んでいることもあるので、手洗いに顔も洗ったほうがいいと思います。

今回の新型コロナウイルス感染症は、ウイルスが便の中にも出てくるので、飛沫が舞い上がらないように

排便の後は便器のふたをしてから流しましょう。

金属やプラスチック、ガラスなどの表面に付着したウイルスは、数日間感染能力を保ったまま残ることがあるので、食事中にスマホやタブレットを操作することはやめたほうがいいですね。

ドアノブや手すり、便座などウイルスが付着しやすい場所は、エタノールで消毒するか、家庭用の漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム液）を薄めて布などに浸して拭いた後、さらに水拭きをします。使用の際は必ず手袋をしてください。

ところで、最近店舗の入り口などに手指消毒用に置かれている次亜塩素酸水は、次亜塩素酸ナトリウム液と名前は似ていますが全く別物です。アルコールでの手指消毒のような効果は期待できません。次亜塩素酸水の次亜塩素酸の濃度は低く、保管状況によってはすぐに効果がなくなってしまう。水道の水を流すように、次亜塩素酸水をかけ流しながら物を洗うには有効ですが、スプレー噴霧は無効で危険です。

ウイルスはそれ自体が空气中に浮かぶことはなく、ウイルスを含んだ飛沫が飛んで感染します。咳やくしゃみだけでなく、肺の奥からは呼吸

によって細かい飛沫が飛び出します。インフルエンザウイルスが鼻やのどなど上気道に感染して重い全身症状を出し、まれに感染が肺に広がって肺炎を起こすのに対し、新型コロナウイルスは最初から肺の奥に感染し、症状がないあるいはごく軽い症状の人でも、呼吸と一緒にウイルスを出していることがあります。深く大きな呼吸をすると、ウイルスを含んだ細かい飛沫がたくさん出てくるので、カラオケや劇場、食事しながらのおしゃべりで感染が広がっているのです。誰もが感染している可能性があると考えて、飛沫を飛ばさないようにマスクを正しく着けましょう。

—マスクを正しく着けるとは。

使い捨ての不織布マスクは、表面に水をはじきやすい加工がしてあり、中に飛沫を通さない働きをする細かい網目に織った布が入っています。まず包装を見て表裏を確認してください。着用時には、プリーツを広げて、鼻の穴が出ないように鼻柱から下あごまで完全に覆うことが大切です。ノーズフィッターを折り曲げて、ほほに密着させます。この時、眼鏡が曇るようでは密着不足です。

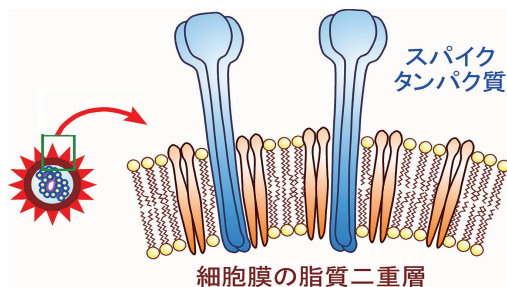


図2 エンベロープウイルスの模式図

外すときは、表面を触らないように、耳ひもを両側に外して、前にマスクを出すようにします。布マスクは薄い生地や目の粗い生地は避け

家族が感染した、あるいは疑いがある場合は、できるだけ距離をとってください。可能な限り、眠る部屋や食事をとる場所を分ける。家の中でも対面するときはマスクをする。お風呂も体調が悪い人に最後に入ってもらうなどですね。もちろん、普段はそんなことをする必要はないですよ。

—最後に、このような生活はいつまで続きますか。

残念ながらこれからもずっと続くと思ってください。なぜかというところ、今回の新型コロナウイルスの感染の広がりが終わっても、また次の新しいウイルスが必ず出てくるからです。人類が活動場所を広げて、今まで出会ったことのない新しいウイルス（新興感染症）と出会う機会がどんどん増えていきます。

感染症を広げないためにも、人が動き回って互いに密に接触することが当たり前という考え方を、社会全体が、少しずつ切り替えていかなければいけないと思っています。

—ありがとうございます。

—同居家族が感染した場合どう対応すればいいでしょう。

感染症全般、基本的に同じです。

## 新型コロナウイルス後の 新しい生活と子どもたち

新型コロナウイルス感染対策として、3密の回避、外出自粛が求められたのを機会に、わが国でもインターネットを活用した生活が見直され、一気に加速しそうです。

大人の社会では、働き方改革の一環として、在宅勤務の割合が増え、両親がそろって家にいる時間が増えます。子どもたちの学校ではオンライン授業が取り入れられ、休校中でも在宅で学習できるようになり、家族そろって、夕食をとる家庭が増え、親子の対話も増えることでしょう。

一方、今の都市生活では、家族がくつろげるだけの空間がなく、落ち着いて在宅勤務できる家庭は限られているでしょう。とくに、乳幼児のいる家庭では、仕事をしようと思っても、子どもは許してしてくれません。都市部では庭付きの住宅を持てず、郊外に移り住む家族が増え、都市集中型から地方分散型へと、新型コロナウイルス流行を機会に変化していきそうな気がします。

世界各国でもオンライン授業が試みられています。先進国の中で、日本はパソコン・スマホ

の普及率が低く、少し遅れをとっているようです。これまでのところ、対策としてテレビや民間の教材を一部の学校では用い始めているようですが、両親への負担が大きく、戸惑っておられる方も多いようです。

人と人とのコミュニケーションをとるには、言葉、動作振る舞い、表情、声の調子などで相手に自分の気持ちを伝えますが、言葉による表現力に乏しい子どもたちにとって、オンラインで友達と十分なコミュニケーションをとれません。学習ドリルやオンライン授業で知識力はある程度カバーできるでしょうが、五感を養い、友だちとのコミュニケーションをとり、協調性を養う教育目標達成には大いなる工夫が必要となります。

休校明けで、友達と出会い、マスクをしながら校庭をかけ巡る子どもたちの姿を見ていると、外出自粛が子どもにとっては大人以上に大きなストレスになっていたことがよくわかります。

(なかむらはじめ氏…小児科医、神戸大学名誉教授)



中村肇氏

新型コロナウイルス感染拡大により、多くの会合が中止・延期を余儀なくされている。何年か前に、知り合いの当時医学生だった女性から、ある昼食会の話を聞いたのだが、それも「今年は中止だろうな」と思うと残念である。

医学部の学生が履修する解剖実習は、生前のご本人の意志により献体された方のご遺体から学ぶ、重要で貴重な実習である。大学の医学部では、毎年、実習終了後、献体された方々に感謝してご冥福をお祈りする慰霊祭が行われている。通常、ご遺族をお招きし、教員・職員・実習を終了した学年の学生等が参列することが多いのではないかと思う。

彼女の通う大学では、毎年慰霊祭の式典終了後、現在献体の登録をされている方々と、慰霊祭に参列した学生との昼食会が行われている、という話であった。将来献体すると決めておられる方々と、解剖実習を終えて間もない医学生が、会食し交流するのである。彼女が少々緊張して臨んだその会では、学生数人につき一人の登録者が卓を囲んだ。彼女の卓に着

### コラム 折りおり

いたのは、朗らかな老婦人で、「あなた下宿生なの？ちゃんにご飯食べてる？」などと話され、まるで法事後で親戚のおばあちゃんとお話ししているような、和やかで明るい会であったそうだ。

### 感謝の連鎖

老婦人は、慢性関節リウマチで30年以上もその大学の附属病院にかかっていた。「体が不自由になって長生きはできない」と思っていたのに、医学医療の進歩のおかげで、今も楽しく暮らし、杖をついて出かけることもでき、とても感謝している。お世話になるばかりなので、死んでからでもお役に立てるのならと思つて献体登録した」と話されたそうだ。

この方は、慢性疾患をかかえ辛いことも多いであろうに、医学医療への感謝の気持ちを持って献体登録され、解剖実習を終え臨床医学の学習が始まる医学生は、献体された方とそれに同意されたご家族への感謝の気持ちを新たに、医師への道を歩む。「感謝の連鎖」というものがあるのだなあと、私もこの話を聞かせてもらったことに感謝したのであった。(Y)

## ひょうご・小さな旅

### 明石海峡大橋と舞子公園

— 神戸市垂水区東舞子町 —

国道2号をまたぐ歩道橋を降りると、明石海峡大橋がぐんと迫ってくる。巨大な橋台の前から淡路島の方角を望むと、大橋の存在感がわかる。橋長3911m、主塔間の長さ1991m。世界一の

つり橋だ。阪神・淡路大震災で1mほど伸びたのだという。ドライブしているときには、その大きさが十分にわからない。

橋げた内には、舞子海上プロムナードという遊歩道がつくられている。入り口で住所、氏名を書き、検温される。そして両手を消毒。マスクをしていないと入館できない。コロナウイルスが拡大傾向にあり、嚴重なチエックを受ける。

エレベーターに乗り8階を押すと、一気に海面からの高さ約47mまで昇る。進んでいくと、回遊式遊歩道の入り口。明石海峡に突き出たように、プロムナードがつくられている。長い丸木橋があり、ガラス張りになっている。47m下は明石海峡。ガタンガタンと音がするが、橋を渡る車の



明石海峡大橋から淡路島をのぞむ

音だろう。迫力満点。橋の主塔・300m以上に上がった気分が味わえる展望カメラステムもある。東の方角、真下には国の重要文化財「孫文記念館（移情閣）」がある。貿易商・呉錦堂の別荘を前身に、大正時代に建てられた八角三層の楼閣。孫文と日本・神戸のかかわりを紹介する関係資料などが展示されている。

展望ラウンジにある軽食・喫茶店で一服する。淡路島がほんの近くにある。風が強い。海峡を往来する船が白い波をかき分けるように往来する。釣りをする人、散歩する人、公園の木陰で弁当を広げる人たちが見える。このあたりは、舞子公園である。公園を歩く。

夏の日差しが強い。一帯が松林で、舞子浜は白砂青松の地として古くから詩歌に詠まれてきた。明治天皇の歌碑もある。1900年（明治33年）、初めて県立都市公園に指定されている。国の登録有形文化財に登録されている旧木下家住宅、実業家だった武藤山治の旧武藤山治邸など神戸の近代史が点在している。

あし：JR舞子駅、山陽電鉄舞子公園駅下車。高速バス「高速舞子バスのりば」下車。

## ◇ 脊柱側わん症検診について

脊柱側わん症とは、脊柱が左右に曲がっている状態をいい、大きく分けて乳幼児期側わん症、学童期側わん症、思春期側わん症に分類されます。成長に伴って発症することが多く、体のバランスが崩れ見た目にも姿勢が悪くなります。進行すると胸郭や肋骨の変形がおこり、呼吸機能などにも影響を及ぼします。そのため早期に発見し、適切な治療を行うことが重要です。

当協会では県下の市町教育委員会や私立学校等から受託して、小学校5年生から中学校2年生のいずれかの学年で脊柱側わん症検診を実施しております。対象学年や実施方法は各教育委員会によって異なります。

基本的な流れは、まず一次検診として対象学年の児童・生徒全員に、脊柱モアレ撮影を実施します。脊柱モアレ撮影では、背中凹凸を赤外線3Dセンサーにより背面から撮影し、同じ高さの部分等を高線と結び画像化します。その画像から、背中の凹凸の左右差、肩の高さの違い、ウエストラインの左右差などを読み取ります。

一次検診で所見ありの場合、専門医による視触診（二次検診）を行います。ここで有所見と判断されると、脊柱X線撮影（三次検診）を行います。脊柱X線写真で脊柱のわん曲度を



一次検診（脊柱モアレ撮影）

を計測し、要治療、要経過観察、要注意などの管理区分を判定します。これら三次までの全ての検診を、頸椎から腰椎まで撮影可能なX線撮影装置を搭載した検診車で、学校等に向いて行っています。要治療または要経過観察になった児童・生徒とその保護者および養護教諭には、専門医が脊柱側わん症の説明と指導を行います。当協会では脊柱変形専門委員会と兵庫側わん症センターを設置し、検診の精度管理の他、脊柱側わん症の調査研究等を行い、児童・生徒の脊柱側わん症の早期発見、重症化予防に努めております。詳しくは当協会ホームページ <https://hyogo-yobouigaku.or.jp/abou/school/spinal/> をご覧ください。

## ◇内視鏡検査室を増設しました

当協会健診センター（神戸市灘区）では、鼻からスコープを入れる経鼻内視鏡の検査枠を拡大するため、本年7月から3階健診ゾーンに内視鏡検査室を増設しました。

経口内視鏡が口からの挿入時に「オエツ」となる嘔吐反射が起きるのに比べ、経鼻内視鏡は挿入時の苦痛を軽減できるため、希望される方が増えています。

これまで当協会では、経鼻の場合には経口よりも細いスコープを使用するため、光が弱く画質が劣るという問題があり、主に経口で検査を行ってきました。しかし、近年は技術開発が進み、経鼻内視鏡の性能が格段に向上しています。

このたび導入した内視鏡システム「LASEREO（レザリオ）」（富士フィルム製）は、光源（ライト）に波長の異なる2種類のレーザー光を採用しており、明るくシャープな画像が得られます。また、それぞれのレーザー光の発光比率を変え、粘膜表層の微細な血管や表面構造を強調して表示する機能や、微妙な色の違いを見やすくする画像処理機能を搭載し、食道や胃の粘膜の炎症診断や早期がんの特徴的な変化が観察しやすいという特徴があります。

一方、従来から使用している内視鏡システム「LUCERA（ルセラ）」（オ

リンパス製）は高画質で、粘膜表層の血管走行が強調表示される光デジタル法による特殊光観察が装備されており、微細な粘膜の変化や異常を早期の段階で発見しやすくなっています。

どちらのシステムも経鼻、経口の両方に対応しております。

人間ドックや健康診断で胃部内視鏡検査をご予約の際に、経鼻か経口を選んでいただけますので、過去に経口内視鏡でつらい思いをされた方は、ぜひ経鼻内視鏡検査をお試ください。

お問い合わせ、ご予約は  
健診センター管理課

☎078・855・2740  
FAX 078・855・2731



新しく増設した内視鏡室

## 人間ドック、健康診断受診の皆様へのお願い

当協会では新型コロナウイルス感染症対策として、「密閉・密集・密接」を避け、定期的に換気・消毒等を実施するなど、受診環境の確保に努めており、受診者の皆様には、入館時に体温測定・体調問診を行い、マスク着用での受診をお願いしております。

なお、左記の項目にお心当たりのある場合は受診をお控えいただきましたく存じます。

- ・ 風邪症状が持続している。
- ・ 倦怠感、のどの痛み、咳、鼻水、味覚障害、嗅覚障害などの症状がある。
- ・ 発熱（平熱より高い体温、37・5度以上を目安とする）がある。
- ・ 2週間以内に、発熱があった。
- ・ 4～5日間、下痢等の消化器症状がある。
- ・ 2週間以内に、新型コロナウイルス感染またはその疑いのある患者との接触歴がある。
- ・ 2週間以内に、新型コロナウイルス感染流行地域への渡航歴がある。
- ・ 新型コロナウイルス患者に濃厚接触した可能性があり、待機期間中（自主待機含む）である。

状況により、健診や一部検査を中止する場合がございます。ご不便をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 編集後記

「風邪でも休めない人はこのドリンクを飲んで」というテレビコマーシャルは最悪。たかが風邪ぐらいで」という考え方は変えない」と宮澤先生。ウイルスが職場に広がり、仕事の効率が落ちる方が社会全体の損失が大きいと考え方を切り替えることが、ウィズコロナ時代には必要なのですね。

令和二年九月十五日発行  
〒657-0846 神戸市灘区岩屋北町一丁目八番二号  
公益財団法人 兵庫県予防医学協会  
事務局広報室  
☎078-855-2716  
FAX 078-855-2765  
<https://hyogo-yobouigaku.or.jp/>

表紙絵：高嶋 宏子

たなへ まこと 氏  
園田学園女子大学名誉教授



### 守りたい戦跡モニュメント

毎年八月には原爆や終戦の記事・番組が発信され、戦争や平和を考えるいい機会になっている。が、時の流れは着実に体験や記憶を薄れさせている。戦争の痕跡がここ数年、無自覚に壊されていることに驚かされる。空襲で被弾し裂けた幹から



三ノ宮駅陸橋わきの弾痕 交通センタービル二階から東へ。歩道の山側の金網の奥。



東地の昭国塔の塔へ。昭国塔の西側の地球像が右側に見える。昭和31年の国民体育大会でこの道を走る走者の映像が報道され、みどりの塔は全国に広く知られる。

は原爆や終戦の記事・番組が発信され、戦争や平和を考えるいい機会になっている。が、時の流れは着実に体験や記憶を薄れさせている。戦争の痕跡がここ数年、無自覚に壊されていることに驚かされる。空襲で被弾し裂けた幹から

再生していた県庁舎南東のプラタナスは、若木に植え替えられて姿を消し、第一回神戸大空襲の猛火で裂壊した大輪田橋の石材は最近セメントで補修されて、貴重な戦跡が消失されてしまった。そこで、歴史を学んで守っていただきたい身近な戦争の遺跡を紹介したい。JR三ノ宮駅が『火垂るの墓』冒頭と終幕の舞台であることは本シリーズ32で記した。ところで、交通センタービル二階から東へ、線路と並行してフラワールードを渡る陸橋の中央部で、金網の間から山側の鉄製橋梁の側面を見ると、拳銃の穴がいくつも開いている。昭和二十年の米軍機の機銃掃射の痕である。悲惨な『火垂るの墓』とは

東地の昭国塔の塔へ。昭国塔の西側の地球像が右側に見える。昭和31年の国民体育大会でこの道を走る走者の映像が報道され、みどりの塔は全国に広く知られる。

須磨浦公園のみどりの塔にも軍国日本の歴史が秘められている。大正デモクラシーや昭和初年の親米英文化は大恐慌以降の経済・社会の行きづまりで影をひそめ、英仏などのブロック経済に対抗しようとして、日本は東亜太平洋の支配に乗り出して大東亜共栄圏を称した。『日本書紀』が記す神武天皇の国土統一のための八紘一宇（地の端までを一つの家にする）をスローガンに利用した。書紀の天皇治世の年数を逆算してBC六六〇年を神武即位の年とし、一九四〇（昭和十五）年には全国で紀元二六〇〇年の祝典が行われた。神武東征の出発地とされる九州宮崎に八紘一宇の塔が建設され、神戸でも広く募金が行われて、昭和十六年十一月十一日に須磨浦に聖紀慶祝記念塔が完成した。塔は八紘一宇塔と通称され、世界に雄飛すべく、左右に地球の石像を配し、背

森区灘区、戦時中、米軍爆撃機工場目立ち、飛行機工場跡。赤鳥居の神社。周囲は青木に撃たれた。若者の生活もこの近くにある。異なる、井上靖の『三ノ宮炎上』に描かれた若者の生活もこの近くにある。



宝塚市の住宅地の一角に戦没者・特攻隊員の慰霊、見える形で戦争の悲劇を伝えようと建設された。

後に石堀が築かれた。敗戦後、宮崎の塔は大変身して平和の塔という観光地になる。神戸の塔は半ばで切られた塔身を台座に代え、上に新谷秀雄作の女性像を置いて昭和二十九年に国土緑化の象徴「みどりの塔」に生まれ変わった。それでも塔の背後の石堀には富士山と神武天皇の壁画彫刻が遺っている、軍国日本から平和国家への変転の歴史を物語っている。一方、宝塚市聖天寺墓地には零戦の実物大模型が戦没者を慰霊している。特攻隊員と出会った経験のある一実業家が、昭和五十三年に従軍僧を体験した同寺の前住職の協力で、ここに特攻隊員や戦没者の慰霊のために大光明殿を建て、戦争の悲劇を目に見える形にしようとして、その屋上に零戦を配置したのである。